

前回会議(10月30日開催)案件(1)に関する委員の意見について

No.	委員からの意見	意見に対する市の考え方
<b>(仮称)八尾子ども計画の重点課題・基本方向等の検討について</b>		
1	資料1において、「八尾子ども計画」、「八尾こども計画」と表記が二つあるが、正式にはどちらの表現となるのか。	「八尾こども計画」に表現を統一いたします。
2	資料1のP3について、「5.保育所・幼稚園状況」となっているが、施設には認定こども園なども含むため、「5.保育所・幼稚園などの状況」と修正したほうがよいのではないか。	計画期間における基本理念と基本方向、施策の展開を重視した計画書の構成とするため、資料1のP3「八尾市の子育てを取り巻く現状」の部分については別途資料編に一括して掲載します。また、掲載項目については、八尾市の子ども等をめぐる現状がより明らかになるよう設定します。
3	資料1のP8、重点課題3つめの説明文について、「家庭での子育て力や～」となっているが、文章の構成上、「家庭での子育て力の強化や～」に修正するべきではないか。	ご意見のとおり修正いたします。
4	資料1のP20「具体的施策3-3」及びP26「具体的施策4」の各種事業において、保育関連の事業が重複しているが、一つにまとめられないか。	基本方向4の事業については、基本方向1～3に示された事業の中で、子ども・子育て支援事業計画に該当する事業の再掲となります。
5	P1の八尾こども計画、八尾市子ども・子育て支援事業計画の計画期間の表記について、西暦併記はできないか。	本文については西暦併記で対応いたします。その他グラフや図については可能な限り対応いたしますが、スペースの問題上、併記を省略させていただく場合があります。
6	資料3のP23「子育てパートナー事業」のについて、登録者数が64名と増加しているのに対して、訪問家庭数が年々減少しているのはなぜか。また、登録者数が多いにも関わらず市政だよりで登録者を募集しているのはなぜか。	現在、HPやチラシ、子育て情報誌などで、事業紹介を行っておりますが、市民への周知が行き届いてない結果、利用者の減少につながっているのではないかと考えられます。今後も引き続き、様々な媒体での情報提供に加え、関係機関との連携を行い、さらなる情報発信に努めたいと考えます。 また、訪問員(子育てパートナー)の養成につきましては、現登録者についても、常にご活動いただける方ばかりではなく、地域によっては登録者の少ない地域もあることから、引き続き、訪問員の確保を行いたいと考えております。